

令和6年度

## 京都市立上高野小学校 学校経営方針

### «学校教育目標»

### 思いやりにあふれ、自ら考え行動する子の育成

『目指す子ども像』	『目指す教職員像』
<ul style="list-style-type: none"><li>・自他を大切にする子</li><li>・自ら考え行動する子</li><li>・自らを律する子</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・常に人権を意識する教職員</li><li>・真摯に寄り添う教職員</li><li>・主体的に学び続ける教職員</li></ul>
『目指す学校像』	
～思いやりにあふれ、多様な他者と共に成長できる学校～	
<ul style="list-style-type: none"><li>・互いに認め合い、様々な他者と協働する学校</li><li>・自分の力を発揮し、主体的に学び続け、自分らしい生き方を探求する学校</li><li>・共に学び合う中で、自尊感情を高め、自らの成長を実感する学校</li></ul>	

—京都市の目指す子ども像（令和6年度 学校教育の重点より）—

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

1. 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる
2. 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
3. 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となること  
ができる

## 【指導の重点】

「つながり」を意識し、

よりよく生きるための資質・能力を育成する

○自分を見つめる ○他者を理解する ○ものごとを広い視野で考える

知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)を  
一体的に育む

- ・わかる喜びと学び合う楽しさを実感できる授業 ※指導と評価の一体化
- ・学習課題に応じた「まとめ」と「振り返り」を通じて資質能力を効果的に育成
- ・自ら課題や疑問点を設定し調べ、解決していく学習(探究活動)の推進
- ・英語を用いて考えや気持ちを伝え合う言語活動を通じ資質能力を育成
- ・支援の必要な子どもへのきめ細やかな学力向上に向けた取組の推進
- ・お互いの生き方や価値観の違いを認め合える道徳教育の充実
- ・伝統文化体験や自然体験等を通じて豊かな感性・情操を育む
- ・あいさつの励行、基本的生活習慣の確立など望ましい人間関係の育成
- ・多様性等の人権課題を正しく理解し、正しく行動できる態度の育成
- ・自分の大切さとともに他者の大切さを認め人権意識を高める取組の実践
- ・生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践しようとする態度の育成
- ・生涯を通じて自らの健康を大切に管理・改善していく資質・能力の育成
- ・教科指導や薬物乱用防止教室を実施し薬物に対する正しい知識を習得する
- ・子ども自身が危険を予測し主体的に危険を回避する力を育成する
- ・心身の健康の保持増進をめざし、食に関する指導の充実を図る。

家庭・地域と連携・協働した取組